

第 2 回定例会議事日程（第 4 号）

- 第 1 議案第 3 2 号 専決処分の承認を求めることについて
- 第 2 議案第 3 3 号 いちき串木野市税条例等の一部を改正する条例の制定について
- 第 3 議案第 3 4 号 いちき串木野市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 4 議案第 3 5 号 いちき串木野市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 5 予算議案第 3 号 平成 2 6 年度いちき串木野市一般会計補正予算（第 2 号）
- 第 6 市場特予算議案第 2 号 平成 2 6 年度いちき串木野市地方卸売市場事業特別会計補正予算（第 1 号）
- 第 7 陳情第 2 号市民の生命を守る避難計画がない中での川内原発再稼働に反対する意見書の採択を求める陳情の訂正

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員 18名

1番	松崎幹夫君	10番	濱田尚君
2番	田中和矢君	11番	西別府治君
3番	福田道代君	12番	中里純人君
4番	平石耕二君	13番	竹之内勉君
5番	西中間義徳君	14番	寺師和男君
6番	大六野一美君	15番	原口政敏君
7番	中村敏彦君	16番	宇都耕平君
8番	楮山四夫君	17番	福田清宏君
9番	東育代君	18番	下迫田良信君

欠席議員 なし

職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

局	長	木下琢治君	主	査	石元謙吾君
補	佐	岡田錦也君	主	査	岩下敬史君

説明のため出席した者の職氏名

市	長	田畑誠一君	市来支所長	逆瀬川正君
副市	長	石田信一君	消防長	深山龍朗君
教	長	有村孝君	観光交流課長	中村昭一郎君
育	長	中屋謙治君	健康増進課長	所崎重夫君
総務課	長	田中和幸君	まちづくり防災課長	久木野親志君
政策課	長	満蘭健士郎君	税務課長	下迫田久男君
財政課	長	臼井喜宣君	農政課長	末吉浩二君
教委総務課	長			

△開 議

○議長（下迫田良信君） これから本日の会議を開きます。

△日程第1～日程第6

議案第32号～市場特予算議案第2号一括上程

○議長（下迫田良信君） まず日程第1、議案第32号から日程第6、市場特予算議案第2号までを一括して議題とします。

これより質疑に入ります。

まず、議案第32号専決処分承認を求めることについて質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（下迫田良信君） 質疑なしと認めます。

次に、議案第33号いちき串木野市税条例等の一部を改正する条例の制定について、質疑はありませんか。

○3番（福田道代君） 今回の33号、いちき串木野市の条例の中で、特に平成28年度から、平成27年の4月1日以降に新規取得される軽四輪車などの新車の税率を引き上げるとともに環境性能のよい車への買いかえを勧める観点から、最初の新規検査より13年を経過した軽四輪車などの重課を導入しようとするものであるということが言われていますけれども、この13年を経過した軽四輪車というのは、国の方向でそういうふうになっているとは思いますが、燃費が悪いとかいろいろあるとは思いますが、具体的な内容についてと、それと重課というのは、これはどういうことを意味しているのかというのをお願いします。

○税務課長（下迫田久男君） お答えいたします。

重課につきましても、いわゆる重たいという意味合いがございますので、通常の軽自動車税に約20%上乗せする形での課税になるということでございます。

それから、普通車と同じように、普通車も13年経

過後に重課になっておりますけれども、同じような取り扱いでクリーン化を図るということでございます。

以上でございます。

○3番（福田道代君） このいちき串木野市の中では特に、いちき串木野だけではないんですけども、公共交通機関が後退している中で、やはり今、軽トラも含めて2台、3台というのが普通の家庭の交通機関として役割を果たしていると思うんですけども、それと、そういう中で、消費税も増税をされて、まして、このような負担がまた13年ぐらいの車を持っていらっしゃるという方は多分、高齢の方でもあるし、なかなか買いかえるというのは大変な状況もあると思うんですけども。

そういう中で、お聞きしたのは、やはり今、自動車取得税にしても、日産のマーチなどが比較的燃費性がよくて、現在50から75%の減税の対象になっているんですけども、また80%の減税ということも言われているんですけど、それはそうでしょうか。

○税務課長（下迫田久男君） 今、議員御説のとおりだというふうに理解しております。

○議長（下迫田良信君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（下迫田良信君） ほかに質疑なしと認めます。

次に、議案第34号いちき串木野市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（下迫田良信君） 質疑なしと認めます。

次に、議案第35号いちき串木野市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（下迫田良信君） 質疑なしと認めます。

次に、予算議案第3号平成26年度いちき串木野市一般会計補正予算（第2号）について質疑はありませんか。

○9番（東 育代君） 予算書の10ページなんですが、共生協働推進費の中で、今回、新規事業でコミ

ユニティ事業助成金が出ているんですが、この事業の上限と補助率と事業の中身と、これは1回限りというか、その一つの地区に対して1回限りなのか複数回なのか。それと、これは今から先も、単年度の事業なのか、その5点をお聞きします。

○まちづくり防災課長（久木野親志君） ただいまの御質問の共生協働費の自治公民館の改修等のことだと思いますけれども、これは補助率が3分の1、それから補助の限度額が。失礼しました。大変失礼しました。コミュニティ助成事業についてでした、失礼しました。

これは一応限度額がその事業によっていろいろございますけれども、この事業につきましては250万円までというふうになっています。一般コミュニティ助成事業ですね。限度額はそうですが、この今回の申請は240万円ですけれども、これはほぼ100%の補助事業ですが、ただ、例外的に、この事業は10万円単位の補助というふうになっておりますので、10万円以下の端数が出た場合は、申請者の負担というふうなことになっております。

それから事業ですが、基本的にこれは県で各市町村から上がってきた事業で採択を見ますけれども、内示で三、四件というふうに一応聞いておりますので、ですので、必ずしも採用されるかどうかはわからないんですけれども、同じ事業者が、例えば今年して、来年も申請は可能は可能ですけれども、ただ、採用されるかどうかというのは、また別問題かというふうに思っております。以上です。（「単年度なのか」と言う声あり）

失礼しました。これは単年度事業であります。それぞれ単年度事業の採用です。

○議長（下迫田良信君） ほかにありませんか。

○12番（中里純人君） 12ページの教育費の中で、串木野高等学校の支援対策事業補助金というのがありますが、これについては所管で詳しくお聞きするわけですが、7月中旬に行われます三者面談の折に、平成27年度の補助金について説明をなさるといってございまして、平成27年度にどのような補助を考えていらっしゃるのかを伺います。

○副市長（石田信一君） 補正予算につきまして、

関連という意味で27年度事業についての想定ということでお受けしたいと思っておりますけれども、それにつきましては、議員全員協議会でも御説明申し上げましたけれども、土曜授業の補助金と高校の先生方、あるいは外部講師によります支援事業といったものを今回の議案の中で提案させていただいているところでございます。それから、大学の受験関係といったものに加えて、今後、通学補助等についても充足していきたいという形の中で、検討を進めているところでございます。

○12番（中里純人君） 通学費の補助等について検討されているというような答弁でございましたが、通学費に関しましては、市内にも市来農芸、神村学園等があるわけですが、市民と語る会の中でも、串木野高校だけになぜ補助金が出るのかというような御意見もありますし。この通学費補助ということについて、ずっと支給されるのか、それとも定員に達し次第のことか、どういうお考えか伺います。

○副市長（石田信一君） 今回の制度につきましては、緊急避難的なものということで、当分の間というふうにご検討しているところでございます。

○議長（下迫田良信君） ほかにありませんか。

○3番（福田道代君） もう一つ、質問をしていなかったのをお聞きしますけれども、7款の商工費のところ、特に人材育成事業の計上ということであるんですけれども、それが503万2,000円ですね。その内容を委託しているところが、NPOの法人、鹿児島いちき串木野観光物産センターということで、この雇用人数が2名なんですけれども、この2名に対しての研修で、事業内容的には、観光によるまちづくりに携わる人材を育成するために観光セミナーや接客マナー講座などの企画、運営及び観光案内業務などの研修などを委託するとなっているんですけど、この観光物産センターのところ、この内容の研修ができるんですか。

○観光交流課長（中村昭一郎君） この事業につきましては、県の緊急雇用創出事業臨時特例金事業、100%補助を活用しました。この中で、地域人づくり事業が今回対象でありまして、この観光に携わる

人材育成をします。この中で2名の人件費を含めました総事業費が503万2,000円で、市民に対するセミナーとか観光事業者に対する研修、そういった人材を育てるといふ事業であります。

以上です。

○議長（下迫田良信君） ほかにありませんか。

○6番（大六野一美君） 10款教育費の串木野高等学校に関する件ですけれども、この件については非常に串木野高校の現状を鑑みるとやむを得ない対策であろうという思いをしながらも、これから子供たちが入学してくる中で、入学をしてきた子供たちがやっぱり幸せになるような教育をしてもらわないかんとというのが思いなんです。グンゼの社長、あるいは日比谷高校の校長をされた方々がいろいろ講演を予定されておりますけれども、それよりも、やっぱり入ってくる人たちが出ていくときに、串木野高校に来てよかったという思いをしながら卒業してもらうためには、県教委の所管であると思いつつも、教育長の出番だというふうに私は思っています。

やっぱり県で有名な教科担任の一人を連れてくるとか、あるいは名立たるスポーツの監督を連れてくるなり何かしていかなと、果たしてどういう結果になるのかなという思いをしながらしています。ましてや子供たちもそういう人たちのところに寄ってきますんでね、そういう意味での教育長の意気込みをお聞かせください。

○教育長（有村 孝君） おはようございます。今、御指摘もありましたように、私どもは県立のほうは所管ではございませんけれども、財政的な支援というのを一生懸命、市長以下頑張つて、皆さんの同意を得ながらお願いをしているところです。

今、大六野議員からございましたように、確かにほとんどは学校が自助努力しなければ、幾ら財政的支援をしても新入生は入ってこないんじゃないかなと思います。その学校の魅力というのは、一面は学習の面でありましょう。もう一面はやはり部活をはじめとする生徒指導といふか学校行事、そういったようなものにやっぱり興味がないと、子供たちは高等学校を選ばないんじゃないかなと思つているところでございます。

今、特進コースをつくって学習面のほうは何とか国公立大学を合格させて、串木野高校で勉強すれば、学問を積みば国公立も受かると。また、いろんなところに就職をしやすいということ。もう一方においては、例えば、柔道とか剣道とか野球とか、そういったような生徒指導上の部活動で行きたいと、あの高校に行けば県大会に行ける、あるいは高校総体に行けるとか、そういったような生徒も出てくるんじゃないかなと思います。

今のところ、残念ながら六つの部活動しかございません。人数の関係です。顧問の先生はそれぞれついてはいますが、今後は、今、議員からございましたようなそういうことも考慮しながら、また学校長と相談をしながら、お願いをしながら努めてまいりたいなど。そして、魅力ある串木野高等学校にと、両面から攻めていければいいんじゃないかなと考えているところでございます。

以上です。

○議長（下迫田良信君） ほかにありませんか。

○16番（宇都耕平君） 事項別明細書の中の10ページです。款の民生費の中で、ここに1,740万円、施設開設準備経費助成特別対策事業ということで。

私の考えですけれども、こういうふうな大きなところの事業所に対しては、流れといたしまして非常に、形として、いろんなひもつき、いろんな形で補助の形が対象になっておられます。それはいいことです。我々もそういう形で、いろんな介護保険料も鹿児島県でも一番高いのに、よかろうちゅうことでやったことですけれども。

それぞれの個々、個人といふか小規模の形で動いている形は、市長としては、どのような形で、それぞれ国の制度も、県の制度もあるんですけども、対策としては、そういうところが対応に来たときには、どのような形で対応されているのかですね。個々の話の中で、そういうことを聞くものですから。それぞれ施設をやっておられるんですよ。大きな形はこういうふうに対応ができる形で、そういうふうには、私としては感じているのは、丸投げのような感じを受けるんですけども、そこらは市長はどのような考えでおられますか。それをまず伺います。

それと、12ページ、先ほども出ております串木野高校の、ここに減額になっておりますけれども、具体的な内容と、どういう形で60万1,000円の減額になったのかですね。具体的な内容を示していただきたいと思います。

○健康増進課長（所崎重夫君） 今、提案いたしましたのは、施設開設準備費助成特別対策事業ということで、新規に新たに建設をする介護事業所のほうへの、これについては開設準備ですので、備品購入費なんかの補助になりますので。これについては、小規模といいますか、小規模多機能型居宅介護とかグループホーム、そういった部分についても、一応この補助金はあります。あくまでもこれは新規に開設する場合の補助金ということで、開設した後については適用外というふうになります。

以上です。

○教委総務課長（臼井喜宣君） 今回の補正でございますが、当初、掲げておりました補助の中で、国公立大学入学金補助、それから串木野高校に入るための入学金準備補助、それから部活動応援補助、この三つにつきましては、既に決算見込みが立っておりますところであります。当初予定しておりましたものから、この決算見込みが立ったものを引いた額、それから今度の6月補正でお願いをいたしております土曜授業等の講師料補助、それから大学受験料補助、これらを新規追加ということで、その差し引き60万1,000円を減額させていただきたいということでお願いをしているところでございます。

終わります。

○16番（宇都耕平君） 民生費の分のは、新規でそういうのにはこういう形でいろんな備品、そういうためにあるということで納得いたしました。

市長に聞きたいのは、そういう形で、今度は小規模の形がたくさんあるわけですよね。その人たちに対するそれなりの対応というか、そういう、どのような考えでおられますか。

先ほど私が述べたんですけれども、いろんなことに資金援助をしてくれとか、いろんな形で小さなところは、不平不満がはっきり言ってあるんですよ。そういう形で手を挙げて、それが施設をつくろうと

したけれども、できなかったと。いろんな形ですね。大きなところがやはり取りまとめてされるのかなと私は感じておるんですけれども。小さなところも一生懸命それなりの形で、介護そういうのに携わっておられるわけですから、そういうことに対する市長の考えというのをひとつ聞かせていただきたいと思います。

それと、串木野高校の件ですけれども、今度は、その分を、土曜のそういうのやら、そういうのにも回すということですね。私といたしましては、串木野高校は県立であると、先ほど教育長も苦しい答弁でありますけれども、本当にやはり地元の中学校等もそれなりの形で串木野高校にやろうという気持ちは持っておられると思うんですけれども、時既に遅しと私は感じております。

前からのいろんな市長からの内容で、説明でもわかるんですけれども、2学級40人の80人がだめであれば、もうこれははっきり言って、再編の対象になるというような話をされました。本当にこれだけして、自助努力が一番だと思うんですけれども、地元としては県立がなくなるちゅうことは、小中学校も、市長としては、小さな小学校は絶対なくしませんということでも答弁もありましたけれども、県立の高校が地元からなくなるちゅうのは非常に寂しいことになるんですけれども、私はこの件に関しては、やはり学校並びに県が、それなりの対策で来ていると思うんですよ。そこに対して、いちき串木野市はこういうことをしていますちゅうことも市長は直接、県教委なり県の教育長そういう方たちに話をされたわけですかね、そこも伺いたいと思います。

[市長田畑誠一君登壇]

○市長（田畑誠一君） まず、社会福祉費の中の老人福祉費の今回の補助についてということでございますが、先ほど課長から答弁がありましたとおり、これは国の制度として、新規に対しての補助があるということで、これを活用させていただいているということであります。

それから、串木野高校の支援につきましては、御承知のとおり今度も6月12、13日ですか、二日間にかけて串木野高等学校、それから市内の4中学校、

市来中、生冠中、西中、羽島中でしたかね、熱心に講演をしていただきました。今、宇都耕平議員がおっしゃいますとおり、地元の県立高校をなくしてはいけません。まさに、今年27年度の入学生の状況が剣が峰だと思えます。だから、精いっぱいやらなきゃいかんと思えますし、県教委にも、今、私ども市、それから議会、それからOB、皆、同窓生、同窓会を上げて応援をしているから、この辺はひとつ酌んでいただきたいということは、県教委にも何回も既に対応をしているところであります。

○16番（宇都耕平君） 施設の件は、ひとつこれからも、いろんなことが小規模のほうからも要望があると思えますので、それはそれなりに市としても形として対応していただきたいということを申し上げておきたいと思えます。

それと、串木野高校の件です。大変なことだと思うんですけども、我々もそれなりのことで市民の方々にも理解を求めて、市来のほうは、市来農芸があるもんですから、私は市来のほうから出ているものですから、いろいろと言われるものですから。手立てとしては、市来農芸高校の件もこれからも考えていただかないと、やはり絶対数が、本当、統計的にも足りなくなっていくと思うんですよ。そこを考えると、串木野も時既に遅し、非情な表現をしましたが、今度は市来農芸もそういう対象になるのではないかなという懸念が出てくると思えますから、それなりのことは市長、考えていただきたいと思っております。

以上で終わります。

○議長（下迫田良信君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（下迫田良信君） ほかに質疑なしと認めます。

次に、市場特予算議案第2号平成26年度いちき串木野市地方卸売市場事業特別会計補正予算（第1号）について質疑はありませんか。

○17番（福田清宏君） 予算の概要の中に、改善に向けた取り組みを支援するためという言葉があるんですが、少し具体的に御説明いただければと思えます。

○農政課長（末吉浩二君） この公設市場につきましては、平成8年の開設以来、串木野青果株式会社が市場運営を行ってきております。この中で、今回、繰り出しを行うと。使用料を減免して、その分を繰出金として追加しようとするものなんですが、改善に向けた具体的な取り組みと申しますと、これまでも行っていますが、この串木野青果株式会社による経費削減ですとか、販売管理の徹底、それから新規の取引先の開拓など、こういう対策を行っていかうと、そういう支援を行っていかうと申します。

終わります。

○議長（下迫田良信君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（下迫田良信君） ほかに質疑なしと認め、これで質疑を終結します。

ただいま議題となっております議案については、お手元に配布しました議案の委員会付託区分表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託します。

△日程第7 陳情第2号の訂正

○議長（下迫田良信君） 次に、日程第7、陳情第2号市民の生命を守る避難計画がない中での川内原発再稼働に反対する意見書の採択を求める陳情の訂正を議題とします。

お諮りします。陳情第2号については、陳情者から訂正したいとの申し出がありますので、これを承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（下迫田良信君） 御異議なしと認めます。

したがって本案は承認することと決定いたしました。

以上で本日の日程は終了しました。

△散 会

○議長（下迫田良信君） 本日は、これで散会します。

散会 午前10時29分